

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名	:	水溶性切削液(ソリューション)
会社名	:	株式会社MonotaRO
所在地	:	〒660-0876 兵庫県尼崎市竹谷町2-183 リベル3階
担当者名	:	商品お問合せ窓口
電話番号	:	0120-443-509
FAX番号	:	0120-289-888
緊急連絡先	:	所在地と同じ
整理番号	:	M241009

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

引火性液体：	区分外 (シンボル:なし、注意喚起語:なし)
急性毒性(経口)：	区分 5 (シンボル:なし、注意喚起語:警告)
急性毒性(経皮)：	区分外 (シンボル:なし、注意喚起語:なし)
急性毒性(吸入-ガス)：	分類対象外 (シンボル:なし、注意喚起語:なし)
急性毒性(吸入-蒸気)：	分類できない (シンボル:なし、注意喚起語:なし)
急性毒性(吸入-粉塵・ミスト)：	分類できない(シンボル:なし、注意喚起語:なし)
皮膚腐食/刺激性：	区分 2 (シンボル:感嘆符、注意喚起語:警告)
眼に対する重篤な損傷性/刺激性：	区分 2A (シンボル:感嘆符、注意喚起語:警告)
呼吸器感作性：	区分 1(シンボル:感嘆符、注意喚起語:危険)
皮膚感作性：	分類できない(シンボル:なし、注意喚起語:なし)
生殖細胞変異原性：	分類できない(シンボル:なし、注意喚起語:なし)
発がん性：	分類できない(シンボル:なし、注意喚起語:なし)
生殖毒性：	分類できない(シンボル:なし、注意喚起語:なし)
特定標的臓器/全身毒性(単回暴露)：	区分 2(肺)(シンボル:健康有害性、注意喚起語:警告)
特定標的臓器/全身毒性(反復暴露)：	区分 1(肺)(シンボル:健康有害性、注意喚起語:危険)
吸引性呼吸器有害性：	区分 1(シンボル:健康有害性、注意喚起語:危険)
水生環境急性有害性(急性)：	分類できない (シンボル:なし、注意喚起語:なし)
水生環境慢性有害性(慢性)：	分類できない(シンボル:なし、注意喚起語:なし)

GHS ラベル要素

シンボル：



注意喚起語

危険有害性情報



危険

吸入すると有害のおそれ

皮膚刺激

強い眼刺激

呼吸器への刺激のおそれ

臓器(肺)の障害のおそれ

長期または反復暴露による臓器(肺)の障害

飲み込み、気道に侵入すると生命に危険のおそれ

注意書き

「予防策」

- ・ 全ての安全注意(MSDS 等)を読み理解するまで取扱わないこと
- ・ 容器を密封し取扱時にはこぼれないよう注意すること
- ・ 防爆型の電気機器、換気装置、照明機器、火花の出ない工具を使用すること。
- ・ 静電気放電に対する予防措置を講ずること。取扱う際は導電性の良い金属容器を使用、必ずアースをすること。
- ・ 保護手袋、保護眼鏡、保護面、保護衣を着用すること。
- ・ 屋外または換気の良い場所でのみ使用し、ミスト、蒸気の吸入を避けること。
また、飲み込まないこと(飲み込むと下痢、嘔吐する)
- ・ この製品を使用中、飲食しないこと。
- ・ 取扱後はよく手を洗うこと
- ・ 空容器に圧力をかけないこと(破裂の恐れがあるため)。

- ・ 容器を溶接、加熱、穴あけまたは切断しないこと(残留物が爆発・発火する恐れがあるため)。
- ・ 環境への放出を避けること。
- ・ 本油はエタノールアミンを含むため、亜硝酸塩を含む防錆剤との接触を避けること。

「対応」

- ・ 皮膚(または髪)に付着した場合:直ちに汚染された衣服を脱ぎ、皮膚を大量の水で洗うこと。汚染された衣服を再使用する場合には洗濯すること。
- ・ 皮膚刺激が生じた場合:医師の診断・手当を受けること
- ・ 眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。医師の診断・手当を受けること。
- ・ 暴露あるいは暴露の懸念がある、または気分が悪い場合:医師の診断・手当を受けること
- ・ 吸入した場合:空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること
- ・ 飲込んだ場合:ただちに吐かせ、医師の診断を受ける。
- ・ 医師の診断が必要な場合:製品容器またはラベルを手元に用意すること

「保管」

- ・ 直射日光を避け涼しく換気の良い場所に保管すること
- ・ 容器を密閉し保管場所に施錠すること
- ・ 子供の手の届かない場所に保管すること

「廃棄」

- ・ 内容物や容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄処理業者に廃棄を委託する(不明な場合は購入先に相談の上処理すること)

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別 : 混合物

成分及び含有量	: 界面活性剤（アルカノールアミン脂肪酸エステル） 15-25 質量%
	水溶性潤滑剤（多価アルコール系） 10-20 質量%
	その他添加剤（着色剤） 5 質量%以下
	水 残
化学特性（化学式）	: 特定できない
危険有害成分	: 混合アルカノールアミンカルボン酸反応生成物

4. 応急措置

目に入った場合	: 清浄な水で最低 15 分間目を洗浄したのち、医師の手当を受ける。
皮膚に付着した場合	: よく拭取ったあと、水と石鹼で付着した部分を洗う。
吸入した場合	: 新鮮な空気のある場所に移す。身体を毛布等で覆い、保温して安静に保ち、必要なら医師の手当を受ける。
飲み込んだ場合	: ただちに吐かせ、医師の診断を受ける

5. 火災時の措置

火災時の特定危険有害性	: 現在のところ有用な情報なし。
特定の消火方法	: 原液は水が存在するので燃焼しない。 水が無くなり燃焼した場合は粉末、炭酸ガス、泡等の消火剤を用いる。 燃焼ガスを吸込まないように注意する。
消火を行う者の保護	: 消火を行う際は保護具を着用する。 消火作業は風上から行う。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項	: 作業者は保護眼鏡、耐溶剤型ゴム手袋等適切な保護具を着用する。
環境に対する注意事項	: 大量の場合は、土嚢等でせき止めて排水溝への流出を防止する。
除去方法	: 少量の場合には乾燥砂、おがくず、ウエス等に吸着させて、密閉できる空容器に回収する。 大量の場合には、盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてから処理する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術対策	: 蒸気、ミスト等が発散する場合は発生源の密閉装置、局所排気装置等の設備を設置する。
注意事項	: 目に入ると炎症をおこすことがある。取扱う際は保護眼鏡を使用して目に入らないようにする。

皮膚、粘膜に触れたり、目に入らないように保護眼鏡、耐溶剤型ゴム手袋等適切な保護具を着用する。

ミスト又は蒸気を吸入すると気分が悪くなることがある。取扱う際は呼吸器具を使用する等してミスト又は蒸気を吸入しないようにする。

誤って飲み込むと下痢、嘔吐することがある。

エタノールアミンが含まれているので、亜硝酸塩を含む防錆剤等を混合して使用してはならない。

使用する際は製品カタログ等を参照し、希釈倍率を確認の上、水に希釈する。

取扱の都度、容器を密閉する。

安全取扱注意事項 容器を開けるときの手を切る恐れがあるので保護手袋を着用する。
保管

適切な保管条件 : ゴミ、水分などの混入防止のため使用後は密栓して保管する。

直射日光を避け、火気、熱源から遠ざけて暗所に保管する。

安全な容器包装材料

空容器に圧力をかけない。

容器は溶接、加熱、穴あけまたは切断しない。爆発を伴って残留物が発火することがある。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策 : ミストまたは蒸気の発生する場合は発生源の密閉化、または排気装置を設ける。

保護具

- ・呼吸保護具 : 必要により有機溶剤用防毒マスクを着用する。
- ・保護手袋 : 長時間または繰返し接触する場合は耐酸用保護手袋、耐油用保護手袋を使用する。
- ・保護眼鏡 : 飛沫が飛ぶ場合はゴーグル型眼鏡または防災面を使用する。
- ・保護衣 : 長時間取扱う場合は耐油性の長袖作業衣を着用する。濡れた衣服は直ちに脱ぎ、完全に洗浄してから再使用する。

9. 物理及び化学的性質

物理的状态

形状 : 液体

色 : 青色

臭い : 僅かな臭気

pH : 8.9 (20 倍液)

物理的状态が変化する特定の温度/温度範囲

沸騰範囲	: データなし
凝固点	: データなし
引火点	: なし
可燃性	: なし（原液、希釈液） 水が蒸発すると、可燃性がある。
爆発特性	
爆発限界	: データなし
密度	: 1.07 (15°C)g/cm ³
溶解性	: 水に易溶
10. 安定性及び反応性	
安定性	: 通常取扱条件においては光、衝撃に対して化学的に安定であるが、40°C以上の高温では相分離することがある。
反応性	: 強酸化剤との接触を避ける。
危険有害な分解生成物	: 現在のところ有用な情報なし。
11. 有害性情報	
急性毒性	: 現在、知見を持っていません。
局所効果	: 長期間または繰り返し皮膚、目に接触した場合、刺激性の恐れがある。
その他	: 現在のところ有用なデータなし。
12. 環境影響情報	
現在、知見を持っていません。	
13. 廃棄上の注意	
残余廃棄物 「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に従い適正に処理する。 都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合はそれに委託して処理する。 投棄禁止 埋め立て処分を行う場合は、あらかじめ焼却設備を用いて焼却し、その燃えがらについて、総理府で定めた物質が基準以下であることを確認しなければならない。 燃焼する場合は、安全な場所、かつ燃焼または爆発によってほかに危惧または損害を及ぼす恐れのない方法で行うとともに見張り人を付けること。	
汚染容器・包装 空容器を廃棄する場合、内容物を完全に除去した後に処分する。	
14. 輸送上の注意	
国連分類	非該当
国連番号	非該当

国内規制 陸上輸送: 消防法 危険物非該当

海上輸送: 船舶安全法 非危険物 個別運送及びバラ積運送において

航空輸送: 航空法 非危険物

輸送上の特定の安全対策

容器が破損しないように丁寧に扱う。

荷崩れや落下事故を起こさないよう、荷造りを充分にした上で積込む。

15. 適用法令

消防法 : 該当せず

化審法 : 適合

PRTR 法 : 該当せず

労働安全衛生法

通知対象物質 : 該当せず

表示物質 : 該当せず

引火性の物 : 該当せず

毒物劇物取締法 : 該当せず

水質汚濁防止法 : 該当せず

16. その他情報

MSDS 記載内容の問合せ先

理系化学工業株式会社 製造部

電話 0795-28-5150

引用文献等

1. 製品安全データシートの作成指針（改訂版）（日本化学工業協会）
2. JIS Z 7250:2000 化学物質等安全データシート(MSDS)
3. 許容濃度の勧告（2004）日本産業衛生学会 産衛誌 46 巻
4. Thresholds limit values for chemical substances and physical agents and biological exposure indices. ACGIH (2003)
5. IARC MONOGRAPHS ON THE EVALUATION OF THE CARCINOGENIC RISK OF CHEMICALS TO HUMANS VOLUME 33
6. EC 理事会指令 「67/548/EEC」の付属書1「危険な物質リスト」

- ・ 記載内容は現時点での最新情報に基いて作成しておりますが、法律、規制等の改正、新たな毒性試験結果の公表等により改訂がありうることをご承知ください。
- ・ 注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、本品の適正な使用については、用途、用法に適した安全対策を実施のうえ、お取扱い願います。

- 化学製品には未知の有害性等があるため、また取扱者の体調等により影響が様でないため
取扱いには細心の注意が必要です。ご使用者各位の責任において安全な使用条件を設定くだ
さるようお願い申し上げます。
- 記載内容は情報提供であって保証するものではありません。